



6月は、いじめ防止啓発月間した。本校では、初の試みとして、全校道徳を行いました。同じ絵本の読み聞かせを行い、それぞれの発達段階に応じて絵本から道徳的な価値を見だしていきます。

今回は、「たったさんびきだけのいけ」という絵本から考えました。以下がストーリーです。

池の中に魚とオタマジャクシ、亀の三匹だけが住んでいます。池の真ん中には島があります。魚とオタマジャクシは、島に上がり日光浴できる亀をうらやましく思っていました。オタマジャクシは陸にあげられる亀を仲間外れにし始めます。魚を誘って二人で無視し始めました。しばらくすると、オタマジャクシはカエルに成長しました。島に上げられるようになったカエルは、今度は陸に上げられない魚を馬鹿にするようになりました。

しばらくして、夏がやってきました。日照りが続き、池の水が干上がろうとしています。陸にあげられない魚は少ない水の中で苦しんでいます。このままでは魚が死んでしまうと思ったカエルは、近くの川までトンネルでつなごうと必死で穴を掘り始めます。蛙の目からぼろぼろ涙があふれ出てきます。亀も穴に池の水が入らないように入り口をふさぎます。なんとか川までトンネルがとどき、川の水が池に流れ込み魚も助かりました。

子ども達の考えを紹介します。

【1年生：亀さんの気持ちを考えよう】

- オタマジャクシさんや魚さんに仲間外れにされて悲しいな。ひとりぼっちは嫌だよ。何も悪いことしていないのに。
- なんでぼくも仲間に入れてくれないの？嫌われたのかな。
- 今度は魚さんが仲間外れになっている。かわいそうに。だめだよって言いたいけれど、言えない・・・。
- みんなで仲良くしたらたのしいのに。
- 蛙さんを手伝って、なんとか魚さんを助けたいよ。
- ぼくも頑張って水を防ぐから、また三人で仲よくしよう！

【2年生：魚さんの気持ちを考えよう】

- 亀さんを仲間外れにしているのか。
- なんでぼくも一緒に遊ぶのをやめさせられなければいけないの！？
- 亀さん、かわいそう。
- オタマジャクシさんについていいのかな。
- オタマジャクシさん、最低だよ。



【3年生：蛙さんにどんな言葉をかけますか】

- 仲間を大切にしよう。
- 魚さんは無視されて嫌だと思うよ。
- 自分がされて嫌なことは人にしたらだめだよ。
- 思いやりが大切だよ。

【4年生：蛙さんがトンネルを掘りだしたのはなぜでしょう】

- 仲間を死なせたくない気持ちが大きかったから。
- 優しい二人を傷つけたことを後悔してトンネルを掘りだした。
- 自分勝手なことをして、魚をいじめてしまったから。
- みんなにひどいことをして、魚には謝り切れないくらいひどいことをしたから。
- 一つだけの命だから。自分が悪いことをして自分も苦しくなった。自分がとても後悔した。
- 自分勝手だったのをあやまりたかったから。

【5年生：トンネルを掘っている蛙さんの目からとまることなく涙があふれたのはなぜでしょう】

- 今まで自分がどんなにひどいことをしていたか、やった気づいた。
- 亀や魚がとてもつらかったことが分かった。相手の気持ちを考えて思い返せた。だから、反省の涙。
- 今まで亀や魚をいじめて「ごめんね」という思いが、魚さんが死んでほしくないという思いが蛙にはあったから。
- 今まで自分の事ばかり考えていたことに、ようやく気付けたから。
- 前まで仲間外れにしていた亀が協力してくれていて、亀が大事な存在だと気づいたから。

【6年生：筆者が伝えたかったことは何でしょう。】

- 自分だけがいいようにするのではなく、みんながよくできるように考えて行動することが大切。
- 過ちを犯しても、しっかり反省し心を入れかえたらまた友達と歩んでいくことはできる。
- 自分が人と違うことができるからと言って、自分よりできない人に対して嫌なことを言ったりいじめをしたり下はダメ。差別をしてはいけない。
- 他の人に「うらやましい」という感情を持ってしまうと、そこから妬みや嫉妬が出てきてしまうから、「うらやましい」って感情を持たない。
- いじめられているところを見ているだけではだめ。

全校で同じ題材で学ぶことで、他学年の考えにも触れることができ、考えの幅が広まり多面的に物事を見られる児童が増えていくことを期待しています。